

空間図形への利用② 解答と解説

1 解答 (1)  $\sqrt{13}$  cm (2)  $2\sqrt{13}$  cm<sup>3</sup>

(1) 正四角錐 OABCD において、底面の正方形の対角線の交点を H とする。

線分 OH は底面に垂直であるから、 $\triangle OAH$  において

$$AH^2 + OH^2 = 4^2$$

線分 AC は正方形 ABCD の対角線であるから

$$AC = \sqrt{2}AB = \sqrt{2} \times \sqrt{6} = 2\sqrt{3} \text{ (cm)}$$

点 H は線分 AC の中点であるから

$$AH = \sqrt{3} \text{ cm}$$

$$\text{よって } (\sqrt{3})^2 + OH^2 = 4^2$$

$$OH^2 = 13$$

$$OH > 0 \text{ であるから } OH = \sqrt{13}$$

したがって、求める高さは  $\sqrt{13}$  cm

$$(2) \frac{1}{3} \times (\sqrt{6})^2 \times \sqrt{13} = 2\sqrt{13} \text{ (cm}^3\text{)}$$

2 解答  $\frac{16\sqrt{17}}{3}$  cm<sup>3</sup>

底面の対角線の交点を H とすると、 $\triangle OAH$  は直角三角形であるから

$$AH^2 + OH^2 = 5^2 \quad \dots\dots ①$$

線分 AC は正方形 ABCD の対角線であるから

$$AC = 4\sqrt{2}$$

点 H は線分 AC の中点であるから

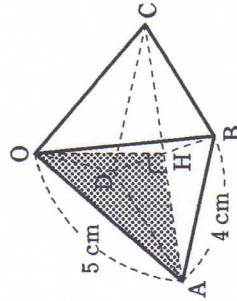
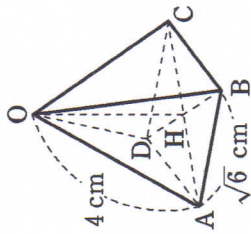
$$AH = 2\sqrt{2} \quad \dots\dots ②$$

$$\text{①, ② から } (2\sqrt{2})^2 + OH^2 = 5^2$$

$$OH^2 = 17$$

$$OH > 0 \text{ であるから } OH = \sqrt{17}$$

$$\text{よって、求める体積は } \frac{1}{3} \times 4^2 \times \sqrt{17} = \frac{16\sqrt{17}}{3} \text{ (cm}^3\text{)}$$



3 解答  $65\pi$  cm<sup>3</sup>

底面の円の中心を O とし、頂点を A、母線の 1 つを AB とする。直角三角形 OAB において

$$OB^2 + 5^2 = 8^2$$

$$OB^2 = 39$$

$$OB > 0 \text{ であるから } OB = \sqrt{39}$$

よって、円錐の体積は  $\frac{1}{3} \times \pi \times (\sqrt{39})^2 \times 5 = 65\pi \text{ (cm}^3\text{)}$